

# 『真光寺川 里親の会』通信

8月号 一通算第 137号

2012年8月12日

## 真光寺川河畔八景

「真光寺川河畔八景」の一つに「五條池」がある。下堰親水と権現橋の中間にあり、かなり大きい。横幅は5歩、縦幅は31歩であり水深40cmの堂々たる池である。真光寺川の河川改修の際に湧水を利用して造られた池らしい。清冽な水が湧き水質抜群を誇り、ホタルの餌になるカワニナは名事務局長であった高橋さんが放流し、かなり繁殖していた。ホタルが乱舞するのも夢ではなかったが、緑あふれる丘陵地帯が住宅地になるに従い、いつしか湧水が消え、雨水依存の現在の池に激変した。8年ぐらい前の事でそんな昔の話ではない。山口前会長が町田市と交渉して現在は雨水のない時は水道水を使用して保水しているので、それ以前の赤虫・イトミミズのわく最悪の水質状態ではなくむしろ真光寺川よりも綺麗かもしれない。しかし水底のヘドロがすごい。藤棚の落葉が積もりに積もり、それを初冬に毎年かき集めたのが池の中洲めいた菖蒲が生えているところである。菖蒲は春には



真光寺川河畔八景 五條池

黄色の花が咲き見事だ。現在は睡蓮を植えているが、道行く人が写真をとったり、立ち止まって午前中に開花する花を愛でている。水底の砂利を掘り、土を入れて地植えにしているので盗られることはなくなったが、それ以前は鉢植えのままであったので小さいものは夏になると持ち去られていた。ホテイ草もそうだ。自宅で増やし初夏に毎年池で花を咲かせようと想い、今年も10日前に4株池に浮かせていたら、翌日にはもうなくなっていた。毎年のことである。

一日限りの晩夏に咲くホテイ草のあの水色の花を楽しんでもらいたいのだから、心なき人による“節約”により今年も盗られた。1株150円で駅前の花屋で売っているのだからそちらで買ってもらいたいものである。沢山あれば水質浄化には抜群の効果があるのがホテイ草だし、メダカの産卵に最適なのがこの草のふわりとした密集した根であるだけに盗難は残念で仕方がない。プランターを4つほど入れて水草を植え魚の逃げ場をと思い入れている。従来は夏の間は池一面にオオフサモが群生し、魚の隠れ家には絶好な水草であった。外来種で好ましくないということを受けて、ごく一部に限定しているがプランターの水草がうまくいけばいずれ除去しなければならないが水質浄化と並行して考えなくてはならない。

この池にはかなりの魚類が生息している。メダカが一番多く、目立つのは3匹の鯉、それにモロコ、モツゴ、金魚、これは野田さんが自宅で飼育していたもので白い金魚もいたはずだがこの頃は姿を見せない。ミナミヌマエビもかなり繁殖した。これは3年前に櫻井さんが真光寺川祭りのために採取してきたメダカのなかにいたエビだが、試験的に10匹ほど池に放したら驚くべき繁殖力を発揮した。今はメダカより数ははるかに多い。増えたこのエビを川では下堰親水を中心として放流したが、子供たちがエビをとれたと川で大騒ぎしている“櫻井さんえび”である。メダカは事務局長高橋さん健在の頃に、山本・岩上さんたちと平和台の調整池から30匹ほど採取したメダカの子孫である。8年ぐらい前だろうか。昨年はメダカにイカリムシがかなりついた。これを止水のこの大きさと駆除するのは至難の技である。成虫は無理にしてもプランクトン状態の浮遊している幼虫を流してしまうほかはない。従って、この頃は水温高くイカリムシ繁殖維時期には排水口に達するまで水量を増やしているせいか未だ見えない。泥鰌が時折、姿を見せるのは微笑ましい。これは団地の魚屋で15年前に買ったどじょう汁用泥鰌の子孫であろう。50匹放流した。“あろう”というのは寿命が8-20年という長寿な魚であるだ

けに第一世代が未だ健在なのかも知れない。少なくともヘドロは泥鰌には役立っている。中洲を取り巻く浅い部分は産卵に役立つので環境としては申し分ない。

この池はいわばビオトープである。魚にとっては小宇宙であり外敵である悪童の侵入と節約型こそ泥盗人さえいなければ、一寸した管理と世話を続ければ見事な池になる。生江さんが堂々たる名調子で「魚を取らないで下さい」という注意書きを藤棚の柱に書いて頂いたが、これも剥ぎ取られてしまっている。心なき人々とのイタチごっこを続けながらも、時折話しかけてくるこの池に憩いを感じているという人々のためにも池は大事にしたい。毎朝池を見ないと落ち着かなくなっているがこれはいい事だと思っている。何事も何かの感情導入がないと楽しくない。それを楽しさに転嫁しないとボランティアは長続きしないものだ。



ホテイアオイの花

五條 吉和 記

## 『メダカ基金』ポスト

**6月**のメダカ基金ポストは310円、一木会寄付266円合計576円でした。**7月**のメダカ基金ポストは1,350円。一木会寄付が1,200円合計で2,550円でした。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

## 6月、7月の清掃報告

**6月**10日の清掃日は会員11名のほか、町田市民大学「まちだdeエコ・ツアー」の体験講座の受講生とスタッフの皆さん9名、エコネット町田のメンバー2名、合計22名が清掃に参加、ゴミ17袋、傘1本、毛布1枚等、いつもながら大量のゴミを拾っていただきました。有難うございました。前日の雨のせいか川は濁り、「小魚の姿は見かけませんでしたね」と皆さん口々に話されていました。

**7月**8日の清掃日は午前中小雨の予報が外れ曇りがちな天気、川の透明度は高く小魚もよく泳いでいました。先週の大雨と昨日の雨のせいかゴミは比較的少なめでしたが、それでも参加した14名で合計17袋のゴミを拾いました。この日の反省点は川底が滑って転んだ会員が2名おり、怪我がなかったのが何よりでしたが注意が必要、またこの日うれしかったことは鶴川5丁目の立石さんと小学2年のお嬢さんが初参加、遊歩道のゴミを拾ってくれました。お気軽にご参加ください。

### 私たちの行動基準

1. 私たちの活動は、地元や地域の人たちに支持されているか。
2. 私たちの活動は、自然に対して謙虚であるか。
3. 私たちの活動は、誰にも解るように説明されているか。

## 9月の清掃日は9日（第二日曜日）です。一緒に川を綺麗にしませんか

川の中や川の周辺のゴミを拾います。一般の方々のご参加、大歓迎です。

☆ スケジュール            9:30 下堰親水場 集合    開戸親水場～神明橋間の清掃作業  
11:30 休憩と打ち合わせ（イチョウ会館）    12:30            解散予定

『 <http://www.shinkojigawa.com/> 』 ホームページへご意見ご感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山本隆治 町田市広袴 3-24-11 e-mail [ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp](mailto:ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp)

事務局：町田市能ヶ谷 7-32-10 黒田健夫 Tel/Fax 042-708-4269 e-mail

[kawasemi@shinkojigawa.com](mailto:kawasemi@shinkojigawa.com)